

(参考資料)

① 事業セグメント別の営業損益見通し

(単位:億円)

	平成16年度 (前回見通し)		平成16年度 (今回見通し)		平成15年度 実績 年度
	上期	年度	上期	年度	
鉄鋼事業	1,850	4,050	1,939	4,350	2,427
エンジニアリング事業	△ 90	60	△ 97	60	31
都市開発事業	5	19	7	20	14
LSI事業	19	46	15	26	49
消去又は全社	16	25	△ 4	△ 6	12
営業利益	1,800	4,200	1,861	4,450	2,536

② 粗鋼生産量(JFEスチール)

	(単独ベース)	(連結ベース)
平成15年上期実績	1,341万t	1,516万t
平成15年下期実績	1,360万t	1,539万t
平成15年度通期実績	2,701万t	3,055万t
平成16年上期実績	1,394万t	1,580万t

③ 鋼材輸出比率(JFEスチール, 単独ベース)

(金額ベース)

平成15年上期実績	40.7%
平成15年下期実績	40.4%
平成15年度通期実績	40.6%
平成16年上期実績	44.0%

④ 為替レート(円/\$)前提

平成16年度 : 1円の円高に対して、18億円程度の減益
(ドル収支では、18億\$ / 年程度の受取超過)
但し、ほぼ全量を予約済みであり、影響軽微。
計画は105円/\$で策定

⑤ 鋼材平均価格(JFEスチール, 単独ベース)

平成15年上期実績	50.5千円/t
平成15年下期実績	50.5千円/t
平成15年度通期実績	50.5千円/t
平成16年上期実績	57.7千円/t

⑥ 有価証券含み損益(JFEホールディングス, 連結ベース)

平成15年上期末	405億円(含み益)
平成15年度末	690億円(含み益)
平成16年上期末	733億円(含み益)

⑦ 特別損益の内訳(JFEホールディングス, 連結ベース, 単位:億円)

	平成16年度 上期実績	平成16年度 通期見込み
退職給付引当金繰入額	△ 110	△ 220
固定資産減損損失	△ 740	△ 740 (注)
資産廃売却損益等	△ 190	△ 640
合計	△ 1,040	△ 1,600

(注) 固定資産減損損失 740億円の内訳

遊休資産	244
貸貸資産	85
ゴルフ場	409
合計	740億円

⑧ 借入金社債残高及び支払金利(JFEホールディングス、連結ベース、単位:億円)

	借入金社債残高		支払金利
平成15年上期末	19,954	平成15年上期	△ 157
平成15年度末	18,374	平成15年度	△ 282
平成16年上期末	17,397	平成16年上期	△ 114
平成16年度末見込み	14,800 程度	平成16年度	△ 220

⑨ 設備投資と減価償却費(JFEホールディングス、連結ベース、単位:億円)

	平成15年度 実績	平成16年度 見通し
設備投資額	1,608	1,400程度
減価償却費	1,856	1,820程度

⑩ 経常利益の増減内容(平成16年度通期見通し、対平成15年度実績比較)

鉄鋼事業	+2, 115億円 (2,085億円→4,200億円)
(内容) コスト変動	+420 (金融収支も含めたコスト変動額は、+498)
為替レート	△ 130 (レート 113.6→107.1(為替予約前) △6.5円円高) 別途営業外収益にて、為替予約差益有
原料価格	△ 1,350
数量,構成,価格	+2,620 (オンリー1、ナンバー1等高級品の増加含む)
営業外など	+129
グループ会社他	+426 (電炉・資源・化学系グループ会社好調 他)
エンジニアリング事業	+21億円 (54億円→75億円)
(内容) 固定費削減に加え、環境事業等の売上が増加することにより、平成15年度実績に比べ増益の見通し。	
都市開発事業	+5億円 (13億円→18億円)
(内容) 分譲マンションの販売増などにより増益の見通し	
LSI事業	△20億円 (45億円→25億円)
(内容) デジタルカメラ向け製品の販売減により減益	

以 上